

狭山市立柏原小学校 ICT 授業実践例

1 ジャンル

小学校3年生

社会

A1 教師による教材の提示

児童生徒

2 概要

SKYメニューのノート機能を使い、教材を配布し、地図に川や市役所の位置、畑や建物に色付けさせるなどした。地図記号からわかる特色を考えさせ、わかったこと、きづいたこと、思ったことを記入させた。

単元(題材)名

市の様子

単元(題材)目標

市の様子から学習問題を見出し、観察・調査したり地図やその他の資料を活用したりして調べたことを、地図記号や方位を活用して白地図にまとめるとともに、場所による地域の様子の違い、特色やよさを考えて、適切に表現する。

活用したICT機器、アプリケーション等

SKYメニュー

本時のめあて

市には、どのような場所があり、それぞれどのような様子なの

本時の展開の概要

- 1 地図記号の確認
- 2 狭山市の地区を写真や地図で読み取る。
- 3 ノート機能を使って地図に書き込む。
- 4 田畑はどんなところに多いかを考え話し合う。

写真・記録

①市役所を地図上に入れます。
②入間川と不老川をかきまます。

ICT機器の活用でねらった効果

- 自分たちの住んでいる地区と対象となる地区とを同一画面上に表示し、位置確認を行える。
- スタンプを使って地図記号を即時記入できる。
- 児童が課題提出をしたあと、教師機で大型テレビで提示できる。

児童生徒の様子(成果や課題)

- 教師が事前に発表ノートに資料を貼りつけている状態で課題配布を行った。児童は拡大縮小、資料の添付などせずに、記入スペースに書き込むことからスタートできた。
- スタンプ機能が便利との声が上がっていた。
- キーボードで打ち込む経験がない児童がほとんどなので、タブレットで手書き入力することがほとんどであった。記入スペースは大きめがよい。
- 課題提出を時間内に行うことが現状難しい。

狭山市立柏原小学校 名前: